金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY
国立がん研究センター 先端医療開発センター National Cancer Center Exploratory Oncology Research & Clinical Trial Center
国立がん研究センター 橋渡し研究推進センター National Cancer Center Center for Promotion of Translational Research

EPOC/CPOTセミナー

レクチャー 形式セミナー

ラジオセラノスティクスの現状と展望 3回シリーズ

第２回

放射線薬学・化学

2023 9/6 水 17:00 ▶ 18:15 Zoom オンライン

小川 数馬
金沢大学　新学術創成研究機構
創薬分子プローブ研究ユニット

治療用放射性医薬品の現状と今後

近年、がん領域では 画像診断と標的治療を組み合わせて 包括的に診断治療を行う セラノスティクス(診断＋治療の造語) といった言葉が使われるが、核医学治療では 基本的に診断用放射性医薬品と治療用放射性医薬品を組み合わせて用いられており、ラジオセラノスティクスとも呼ばれている。
本セミナーでは、このラジオセラノスティクスについて、放射性医薬品の視点から現状と今後の展望について、講演者の研究も含めて紹介する。

鷲山 幸信
福島県立医科大学
ふくしま国際医療科学センター
先端臨床研究センター

アスタチン－211(^{211}At) を用いた標的アルファ線治療の開発：基礎から臨床へ

福島県立医科大学は標的アルファ線治療の開発にむけてサイクロトロン施設を整備し、2016年6月から本格的に^{211}Atの製造と安定供給を進めた。また希少疾患の悪性褐色細胞種・パラガングリオーマを対象とした薬剤[^{211}At]MABGの合成、非臨床試験、ＰＭＤＡとの対面助言等を経て昨年10月から第一相医師主導治験を実施している。
本セミナーでは治療用RI標識薬剤を基礎から臨床まで導出した開発過程を紹介する。

参加登録はこちら！

https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZIqdOmsqTMoHdEu5-E-Kk16IQlQBh8YXaSV

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

第３回 医用放射性同位元素の国内製造
10/4 水 17:00-18:15
菊永 英寿　東北大学　電子光理学研究センター　光量子反応研究部
高木 直行　東京都市大学　理工学部　原子力安全工学科　原子力システム研究室

問い合わせ：EPOC/CPOTセミナー事務局　cpot_seminar@ml.res.ncc.go.jp